

発議第18号

森林・林業関連政策の確立と林業労働者対策等の充実を求める意見書

標記について、会議規則第14条の規定に基づき提出する。

平成18年12月21日提出

提出者 高山市議会議員 小井戸 真人

賛成者 高山市議会議員 長 田 安 雄
蒲 建 一
杉 本 健 三
伊 畠 明 博
松 本 紀 史
谷 澤 政 司
中 田 清 介
藤 江 久 子
小 谷 伸 一
北 村 征 男
松 葉 晴 彦

森林・林業関連政策の確立と林業労働者対策等の充実を求める意見書

森林・林業・木材関連産業を取り巻く環境は依然として厳しく、国民の新たなニーズに応える多様で健全な森林整備の推進や林業労働者の育成・確保、国産材の利用拡大を軸とした林業・木材産業の再生と山村の振興など、実効性のある施策が求められている。

国におかれましてはこうした状況をふまえ、各種施策の実施と必要予算の確保に向けて下記の事項について積極的な対応を強く求める。

記

1. 森林整備の推進について

(1) 森林・林業基本計画に基づく間伐等の森林整備と地球温暖化防止森林吸収源10ヵ年対策を一体的に推進するための必要予算を確保すること。

(2) 「間伐等推進3ヵ年対策事業」については、着実な推進と間伐材の利用対策を進めること。

また、間伐の促進に向け初回間伐の全額公費負担をはじめ、森林整備に係わる補助率の改善を行うなど森林整備の促進に対する支援策を講じること。

2. 地域材の利用促進について

現行森林・林業基本計画で目標としている国産材の供給量（平成22年2,500万 m^3 ）の達成に向け、木材の生産・加工・流通体制の整備による木材産業などの具体的施策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成18年12月21日

高山市議会